山都町立矢部小学校 学校だより

自分らしく～Be Unique～

矢部小HP　令和６年１２月２日（月）　第３２号
２次元コード←カラー閲覧できます　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

いよいよ本格的な冬に・・・
～毎朝気になるポケットハンド～

最近、冬の季節らしくなって寒い日が続いています。私自身も朝布団から出るのがつらくなっています（苦笑）。

ところで、最近朝の交通見守りをしていて気になるのが、ポケットに手をツッコんだまま歩く（以下ポケットハンド）子がいることです。見かけたら、手を出して歩くよう指導しています。

過去にはポケットハンドの状態で転倒し、内臓が破裂して死亡した事例もあるそうです。寒いときは手袋を着用し、ポケットに手を入れないようにしましょう。

ちなみに先月１歳になる孫が遊びに来た時、アスファルト道を歩いていてこけてしまい泣き出しましたが、「かばい手（前受け身）」をして見事に顔を守りました。その光景を見ていた私は「泣かんでいい」と言いながら「祖父（私）と父親の柔道ＤＮＡを引き継いでるなあ」と思いました。ポケットハンドでは、「かばい手」ができません。

長崎県の先生方との交流会をもちました

このほど熊本県会場を中心に全国人権教育研究大会が行われました。この大会には、本校との人権教育交流校である　　小学校からも参加されていました。そこで、来月実施予定の交流会打ち合わせを兼ねて会合を設定したところ、他の長崎県の先生２名（いずれも　　小勤務経験あり）も加わってのにぎやかな会となりました。この中の１名は本大会の報告者で、矢部小に直接来られたことがある方でした。しかも、その方の実践内容が、偶然にも私が過去行った実践（「解体新書」に学ぶ）と重なる部分があって、すごい「縁」を感じました。

自己紹介のあと、お互いの県内の人権教育の推進状況や両校交流の歴史などの深い話ができました。本校から「黄色のリボン」が贈られていたのは知っていましたが、　　小からは「平和の白リボン」が本校に贈られていたことを初めて知りました。さらに今後の修学旅行についての話にも発展するなど、両校交流の歴史の１ページに刻まれるべく価値ある貴重な一日となりました。

矢部抄

▼この１ヶ月間は、毎週いろんな方との呑み会が入っている。上述したように先日、熊本に出張で来ていた長崎県の先生３名と会を持った▼前日に長崎の先生方に渡す土産の買い物に行ったら「校長先生でしょう？」と声をかけられた。本校保護者の方だった。話していると前日にＨＰ掲載していた記事の話題になり、うれしい気持ちになった▼本通信３１号で掲載した柔道部の子たちからも「鍛える・くじけないのワードが（自身の関わってる人と）重なりました」「いつまでも尊敬する先生でい続けてください」とありがたいメールが来た▼また最近、教頭先生が県外の知り合いの方に本校ＨＰのＰＲをしてくれたようで観られた後に「情熱的な感じですね」「スッゴク面白い。素敵な学校なのでしょうね」等のコメントが届いた。感謝である「楽しそうな学校」と伝わっているのが一番嬉しい！